

事業概要

地域医療の支援に意欲を持つ医師経験5年以上の医師を都職員として採用し、東京都地域医療支援ドクターとして、医師不足が深刻な市町村公立病院等に一定期間派遣
派遣期間(支援勤務)以外は、専門医・指導医等へのキャリアパスを実現できるよう、本人の希望に応じて、都立病院等において専門研修を実施

【実施年度】平成21年度から実施

【募集診療科等】小児医療、周産期医療(産科・新生児科)、救急診療(内科・外科等)、へき地医療(総合・内科・外科等)

【勤務内容～支援勤務と専門研修のローテーション勤務～】

| | | | |
|----------|--------|---|---|
| 6年間の勤務形態 | 支援勤務 | 派遣先 | へき地の公立医療機関 周産期、小児、救急医療等の医師不足が深刻な地域の市町村公立病院 |
| | | 派遣期間 | 1派遣期間につき、原則1年 |
| | | 派遣中の身分 | 自治法派遣(都職員と派遣先市町村職員又は公立病院組合の身分を併任)【※1】 |
| | 専門研修 | 派遣中の処遇 | 給与等は派遣先市町村又は公立病院組合より都に準じた額を支給 他に、派遣手当(1万円/勤務1日)を支給(採用後6年間) |
| | | 研修先 | 都立病院などの都立施設 都立施設以外の都内の臨床研修指定病院(通算1年以内) |
| | | 研修期間 | 支援勤務1年につき2年以内(ただし、専門研修4年につき通算3ヶ月程度、臨時派遣【※2】に従事) |
| | 研修中の身分 | 都職員 | |
| | 研修中の処遇 | 給与等は都の規定により支給(常勤医員) 研究研修費(約53万円上限/年) | |

【※1】地方自治法第252条の17 【※2】へき地医療機関への代診等

【募集対象医師】採用予定日現在、医師法による医師の免許を取得後、通算5年以上医療に従事しており、満60歳未満で医師として診療業務が可能な者。

【勤務イメージ】

| 6年間の勤務イメージ | | | | | |
|------------|------|------|------|------|------|
| 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 |
| 支援勤務 | 専門研修 | 専門研修 | 支援勤務 | 専門研修 | 専門研修 |

令和3年度派遣について

1 当年度(令和2年度) 派遣状況

| | | |
|-----------------|------|-----------------|
| (1) 町田市民病院 | 小児科 | 1名(平成29年度採用) |
| (2) 公立福生病院 | 小児科 | 2名(平成28年度、新規採用) |
| (3) 公立昭和病院 | 救急科 | 1名(平成29年度採用) |
| (4) 青梅市立総合病院 | 産婦人科 | 1名(新規採用) |
| (5) 日野市立病院 | 総合内科 | 1名(新規採用) |
| (6) 公立阿伎留医療センター | 総合内科 | 1名(平成31年度採用) |
| (7) 奥多摩病院 | 内科 | 1名(平成30年度採用) |

2 令和3年度 医師派遣希望の状況

【令和3年4月より支援ドクターの派遣を希望した医療機関数と医師数】
8医療機関 22名(自治医科大学卒業医等により別途確保した数を除く)

3 令和3年度採用 募集・応募状況

- (1) 募集期間 令和2年6月1日から7月31日まで
(2) 応募者 4名
(3) 採用結果 内定者 3名(以下、応募時の状況)
・28歳・男性 平成28年医師免許取得 都立病院
・29歳・女性 平成27年医師免許取得 都立病院
・30歳・男性 平成28年医師免許取得 都内病院

4 令和3年度在籍予定数

11名(支援勤務 6名 専門研修 5名)

5 令和3年度派遣計画(案)

| | | |
|------------|------|-----------------|
| (1) 町田市民病院 | 小児科 | 1名(新規採用) |
| (2) 公立福生病院 | 内科 | 1名(新規採用) |
| (3) 公立昭和病院 | 救急科 | 1名(平成29年度採用) |
| (4) 日野市立病院 | 総合内科 | 1名(令和2年度採用) |
| (5) 奥多摩病院 | 内科 | 2名(平成30年度、新規採用) |
| (6) 檜原診療所 | 内科 | 週1回 |